



ROTARY INTERNATIONAL

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

1989年3月20日

No.10



国際ロータリー第276地区
ガバナー 高沢 隆 Governor Takanashi TAKAZAWA
〒440 豊橋市花田町石塙42-1
豊橋商工会議所内
PHONE 0532-55-8222
FAX 0532-53-6447

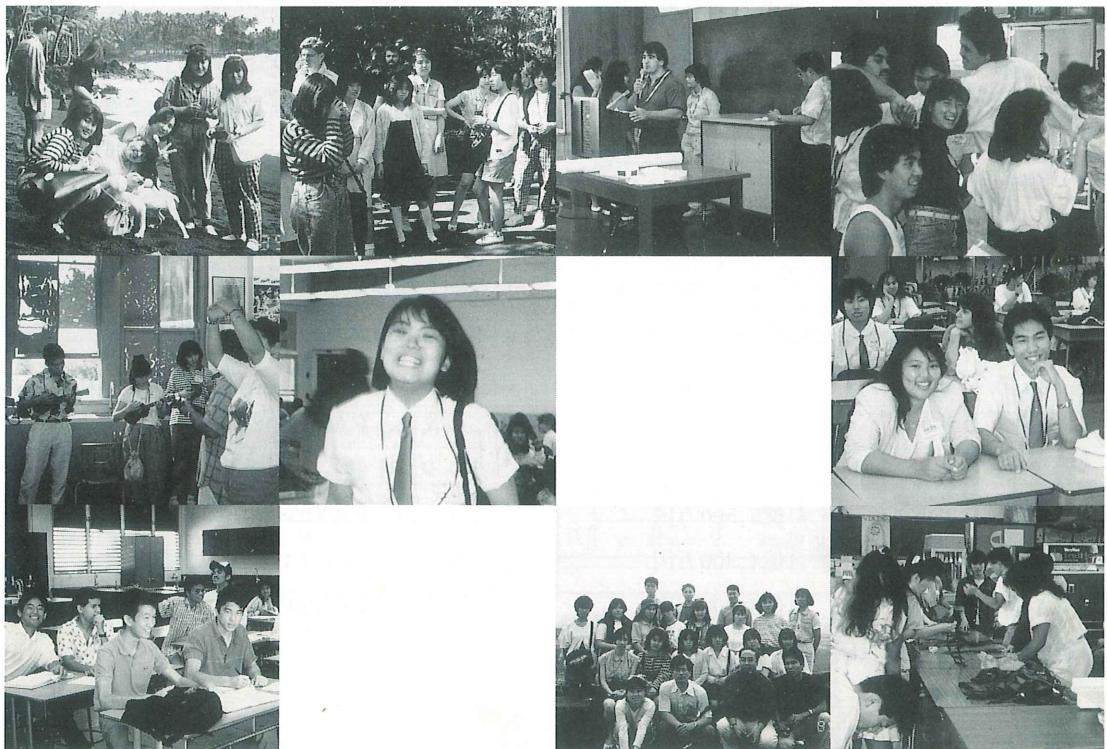
DISTRICT 276
42-1, ISHIZUKA, HANADACHO
TOYOHASHI, JAPAN PC 440
PHONE 0532-55-8222
FAX 0532-53-6447

『ポリオ・プラス月間』——3月

『雑誌月間』——4月

インターフェス海外派遣団

有意義な成果を挙げて帰国!!



3月はポリオプラス月間

ガバナー 高沢 隆

3月は、ポリオプラス月間であります。地区内各クラブのポリオプラスキャンペーンに対しご協力いただき心よりお礼申し上げます。

日本ポリオプラス委員会の発表した最新データによりますと次の様になっております。

募金活動

a 世界	初期目標額	1億2,000万ドル
	本年1月6日現在	
	募金応募額	2億3,150万ドル
	内入金済額	1億5,560万ドル
b 日本	目標額	40億円
	昨年末入金済額	29億4,260万円

接種活動 (73.56%)

1988年10月現在	
79ヶ国接種活動費	9,300万ドル
接種対象児童数	4億5,400万人

276地区の実績

目標額	1億8,760万円
昨年末入金済額	1億3,900万円
	(74%)
100%完納クラブ数	9 R.C.
最高募金額クラブ	名古屋東南R.C. (205%)

日本国内の寄付額上位6地区 (12月末)

1位 D.265	2億0,280万円
2位 D.259	1億6,600万円
3位 D.255	1億6,500万円
4位 D.266	1億5,500万円
5位 D.275	1億4,300万円
6位 D.276	1億3,900万円

年度別募金目標額 (D.276)

1986—1987	1名	5,000円
1987—1988	1名	10,000円

1988—1989	1名	10,000円
1989—1990	1名	10,000円
1990—1991	1名	5,000円
5年間	1名	40,000円

ポリオプラス活動について

ポリオプラス活動はロータリー創立100周年記念事業として、2000年までにこの地球上から、ポリオ、ハシカ、百日咳、ジフテリア、破傷風を撲滅しようと云う全世界規模の偉大なる計画であります。このことはすでにロータリアンは充分承知されていることであります。この活動は、報告されている様に、接種が実行されております。276地区に於いてもご報告致した様に各クラブの積極的なご参加により、昨年末すでに目標に対して74%の寄付を実現していただきました。このキャンペーンの期間はあと2年数ヶ月ありますが、ロータリー財團一般寄付額への影響も出ておりますので、最終目標を出来るだけ早く完納する様要請されております。各クラブの計画、事情もあることと存じますが、早期の完納を願い度いと存じます。その為にはポリオプラス月間に於いて募金活動を一應活発化される様お願い申し上げます。

ポリオプラスキャンペーン用品

- ① テレフォンカード (2枚1組2,000円)
ご注文は、FAX03-427-3546
- ② バッジ (1個1,000円)
ご注文は、FAX03-861-2090
- ③ ポスター／パンフレット (無料)
ご注文は、FAX03-433-7395

インタークトクラブ海外派遣団を引率して

愛知県立豊橋商業高等学校
教諭 内藤克弘

今回の研修目的は、ハワイ島ヒロ市。期間は2月6日から4泊6日。団員21名（引率教員2名、愛知県インタークトクラブ員12名、長野県インタークトクラブ員7名）。飛行機は大韓航空でした。

また、今回の研修の目的は、国際理解ということでハワイ島ヒロ高校で一日、交歓会を持つことでした。ガバナーの協力によりホノルルのロータリアン Alan Kubota さんを紹介いただいたのですが、英語しか通じず、英語の先生の援助でやっとの思いで計画ができました。

2月8日10時15分前、ヒロ高校に私たちが着いても誰れも迎えがなく困りましたが、観光会社（私たちが依頼した）のガイドさんが校長先生のオフィスに連絡をとってくださり予定の10時には、校長先生と担当のサノ先生、そして、Alan Kubota さんから紹介のあったヒロ市のロータリアン Abe Oliveros さんに会うことができました。ところが、ハピニングは訪問した時からすでに始まっていたのです。ガイドさんは校長先生に連絡をとってしまうと、私たちを送ってきたバスと共に会社に帰ってしまったからです。

さあ大変、何か放り出された思いで10分ぐらい待つとサノ先生が英語で挨拶に来られた。そして、紹介があった後、スケジュールの説明、聞くのが精一杯でした。団員も説明がよく分からず、身振り手振りで、まず渡された名前の生徒さんを捜し、お互い挨拶をするというものでした。困りながらも何とか通じたようです。

スケジュールは全てヒロ高校インタークトクラブ員が企画し、顧問であるサノ先生の指示で当日配られた予定表通り進みました。この日は水曜日ということで、授業は13時15分終了ですが、授業終了までヒロ高校インタークトクラブの人たちは、団員を5班に分けて授業参観の案内、食堂で会食等、笑顔で接待してくれました。

この後、グループごとの紹介・ミーティングの時間があったのですが、団員がネクタイ・白

シャツという正装をして行ったためヒロ高校クラブ員からクレームがつき、大急ぎでホテルに着替えに戻り、カットされてしまいました。再びヒロ高校へ戻ると、3班に分かれてウクレレの講習、フラダンスの講習、レイを作る講習とそれぞれヒロ高校の他のクラブ員がインタークトクラブ員の応援に来てくれました。予定の16時ちょっと前には校長先生も見に来てくださいみんな大喜びでした。最後はプレゼントの交換の後、日本から持って行った折り紙を使って鶴を教えてあげました。中にはとても上手に折る生徒さんもいたということです。この折り紙の最中、生徒さんのおばあちゃんという人がお孫さんを連れて私たちに会いに来てくれました。日本語がとても上手で、私たちが尋ねるのを心待ちしていたとのこと、大変感激しました。

自由な服装・自由な授業・伸び伸びとして人なつっこくてゆとりのある高校を見せてもらい、団員は「もっと長く居たい」「もう一日あつたら」とすばらしい感動を持ちました。帰りのバスのガイドさんが「また来られる時は、それぞれの家庭を尋ねる時間があつたらもっとすばらしいでしょう」と話してくれました。初めての体験でどぎまぎましたが、それがかえってプラスになったような気がします。

初めて体験する韓国、ハワイ、特にホノルルでの入国審査には2時間もかかりうんざりしましたが、4泊6日はあつという間に過ぎてしまいました。

過ぎてしまった今、ハワイ島見学、ホノルル見学、韓国市内見学もさることながら、あのヒロ高校での体験、そして団員から寄せられた感想を読むにつけ、すばらしい機会を与えてくださいましたロータリークラブの皆様方に感謝いたします。これを機会に私たち顧問もさらに研究し、よりよい海外研修にしていきたいと思っております。この計画が1989年以降も継続していただきますようお願い申し上げます。

1989

シンガポール規定審議会

シンガポール規定審議会は、去る1月23日から26日までの4日間、当地のWESTIN STANFORD HOTELのRAFFLES国際会議場において、世界の各国からの地区代議員464名、R.I.会長以下事務局員30名、計494名が出席して開催された。

R.I.の立法機関として3年ごとに開かれる規定審議会は、単なる諮問機関ではなくロータリーの議会であり、代議員は国会の議員に相当し、提出された制定案、決議案を審議し採決を行います。今回提案された案件は、制定案133件、決議案46件、計179件で、その採決状況は下記の如くである。

規定審議会に提案された案件の採決状況

採決状況	制定案	決議案	合 計
採 択	20	9	29
修 正 採 択	11	1	12
否 決	53	11	64
取 り 下 げ	45	23	68
理事会で検討	4	2	6
合 計	133	46	179



WESTIN STANFORD HOTEL



規定審議会場

第276地区代議員

バストガバナー 奥 谷 博 俊

紙面の都合もありR.I.資料や「ロータリーの友」などにも掲載されますので、特に重要案件等について概要を報告する。

(1)制定案 (89-54) 理事会ほか110件(日本25件、当地区あまR.C.) 提案

国際ロータリー定款・細則等よりロータリークラブは成人男子のみで構成される条項を削除し、女子も男子と同じ条件で会員に選ばれることができる。既に米・加国では約1千名の女子会員が存在し、この案件は過去4回も取上げられ否決されてきましたが、今回の投票の結果は賛成328票、反対117票、2/3以上の賛成票を得て採択されました。同時に決議案としてロータリアンの御婦人および家族のロータリーで果した役割をたたえ、感謝し励ます件が採択されました。

(2)制定案 (89-46) 理事会提案

現在の正会員、シニア・アクチブ、バスト・サービス及び2つのタイプのアディショナル正会員を一本化して正会員とし、会員の種類は正会員と名誉会員の2種類、各職業、専門職業分類は5名以内、会員50名以上の場合10%以内とする案件。賛成283票、反対173票、賛成票2/3に達せず否決されました。

(3)制定案 (89-89) 理事会提案

R.I.に支払うクラブの正会員等の人頭分担金は、現在半期ごとに米貨10\$を14\$50セントにする案件、修正案として10\$を12\$として案が提出されましたが、賛成票は2/3に達せず否決、次いで原案に比例人頭分担金を2\$25セントを含めた修正案が審議され、賛成票多数で採択されました。さらにシニア・アクティブ会員に対し人頭分担金を免除する件、R.I.に対し5ヶ年財政予想計画を規定する件、R.I.による負債の限度を設定する件等が提案されましたがいづれも否決され、最後にR.I.管理上率先して費用の軽減策を計るようR.I.の計画・管理について再調査を求むる決議案を採択して終了しました。

(4)制定案 (89-49) 米・英ほか30国R.C.提案

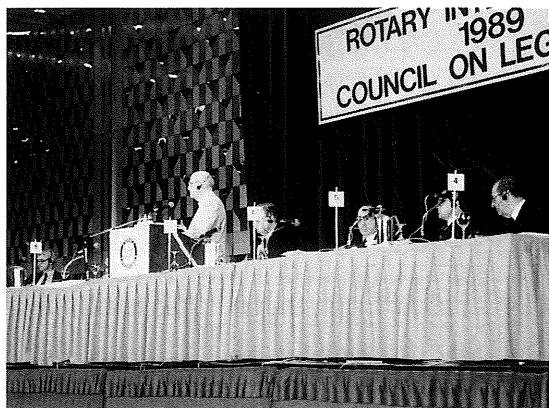
引退したロータリアンでない人で、25年間現実にキャリアを持ち、65歳未満の人を会員とする案件は否決されました。

(5)制定案として、1ロータリー年度に2回クラブ例会の取り消しを認める件

ロータリーの存在しない国を旅行する場合欠席を免除する件、クラブが区域の割譲または共有を拒否しても国際ロータリー理事会が承認できる件、青少年活動委員会の名称を青少年奉仕委員会に変更する件等が採択、修正採択されました。

(6)決議案として

「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最



議長団席

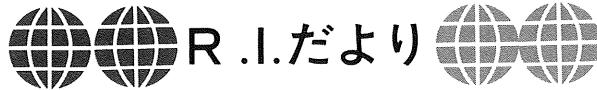
多く報いられる」は現在R.I.の同格の標語であるが、前者を第1標語と指定し、後者も引き続き公式標語として残す件、ロータリーの綱領第2項（職業奉仕）に関する決議文、会長職に就く人の国籍を片寄らないようにする件、世界平和を強力に推進する件等が採択、環境保全対策はわずか2票の差で否決されましたが、この課題は理事会で検討するよう決議されました。

現在、加盟国及び地域の総計は1,620国、クラブ数は2万4千、106万名の会員数となり、エバンストンの旧本部から近代的な18階建のビルに移転し、事務総長以下職員数は約500名と聞く。また、財團プログラムとしてポリオ・プラス・大キャンペーンが着々と進行している。このような肥大化したR.I.は将来どのような進路をとり発展していくべきか。各ロータリアンに課せられた責務は極めて大きいものがある。'87-'88年度のロータリー一年次報告書が最近配布されたが是非一読され、共にR.I.の将来について考える時であると思う。

会議中の4日間は午前8時半から夕方6時まで延30時間かけて討論、採択が行われたが、時間的には短く感ぜられ出席した私にとっては生涯における頗る充実した日々であり、代議員として選出されたことに対し心から感謝申し上げます。



傍聴者席



ローターアクト・プログラムが 大巾に改正されました

R.I.理事会の最近の決定により、ローターアクト・プログラムは大幅に改正されました。その結果、ローターアクターに、クラブ・レベル、地区レベル、国際レベルでより多くの責務を与えると同時に、専門知識開発と指導力研修の推進を目指すという二つの新しい重要事項が織り込まれました。

この改正の意図は、ローターアクト・クラブおよび地区と国際ロータリーとの交流を強化することにあります。しかし、ローターアクト・クラブとその提唱者間のコミュニケーションを密にすることも意図しています。

標準ローターアクト・クラブ定款(PA2-661-JA)、ローターアクト方針声明(PA2-660-JA)、ローターアクト交換チーム指針(FP4-484-JA)がいずれも改訂されましたので、ぜひ熟読して下さい。最も重要な改正点のあらましを次に述べます(本ニュース・レターの次ページ以降には、改正点に関する詳細な情報が記載されています)。

クラブ・レベルでの改正

- (1)会員の年齢の上限は、29歳に引き上げられました。
- (2)ローターアクトは、四半期ごとに、慣例の会合、またはその他の行事にロータリアンを招待するよう奨励されています。また提唱ロータリー・クラブも同じように、ローターアクターを招待するよう奨励されています。
- (3)ローターアクト・クラブは、今後、R.I.へ直接資料を注文することができます。
- (4)クラブは、今後、各地区ローターアクト代表へ送付される予定のローターアクト・クラブ世界名簿を通じて、お互いに直接連絡をとることができます。地区レベルでの改正については、本記事の関係箇所をご覧下さい。
- (5)ローターアクト・クラブは、ローターアクト年度を、ロータリーフィードと同じく、7月1日にスタートするよう変更しなければなりません。
- (6)ローターアクト・クラブは、現クラブ会員と元クラブ会員の名簿を作成するよう奨励されています。上記会員が関心を抱く、ロータリーの奉仕分野の概略記載欄付きの名簿です。この名簿は、提唱ロータリー・クラブへ送ら

なければなりません。こうすることにより、ロータリー、ローターアクト、元会員の三者共同プロジェクトの増加と、ローターアクトの奉仕の継続性との両方に道が開けます。

地区レベルでの改正

地区組織は、R.I.とのコミュニケーションを密にするために、本ニュースレターに同封のローターアクト・クラブ方針声明に概説されている数多くの責務を遂行するために新しく設けられました。あらゆるローターアクト地区は、地区ローターアクト代表を指導者とし、この代表は、R.I.プログラムに関する情報を受け取ったり、R.I.とローターアクト・クラブ会員間の連絡役を務めたりします。

ローターアクト・クラブが3つ以上ある地区では、ローターアクターが代表を選挙し、ローターアクト・クラブの数が一つまたは二つの場合は、地区ガバナーが現ローターアクト・クラブ会長1名を会長に任命することになります。

指導力開発

R.I.理事会は、次期ローターアクト・クラブ役員、理事、委員会委員長の全員を対象に、毎年、会期1日か2日の指導者講習会を開くことを提唱ロータリー・クラブに要請しています。この講習会は、地区ローターアクト代表が、ロータリー地区ローターアクト委員会委員長と協力して実施することになります。この講習会の費用は、提唱ロータリー・クラブが負担するか、または提唱ロータリー・クラブ、ロータリー地区、参加ローターアクターで協議のうえ合意、決定した方法で賄われることになります。

専門知識開発

提唱ロータリー・クラブはまた、ローターアクト・クラブがモデルとして利用できそうな、有意義で漸新な専門知識開発活動を見極めるよう要請されています。

専門知識開発活動には、就職相談セミナー、職業相談、ビジネス・テクノロジーに関する最新情報の提供、経営・販売研究集会が含まれましょう。

ローターアクト・クラブは、会員の職業分類リストを提唱ロータリー・クラブへ提出するよう要請されています。ロータリー・クラブ会員として入会を勧めることができる人を探すためにこのリストを使おうというのです。

国際レベルでの改正

ローターアクターは、今後、登録をした代議員として、ロータリーの国際大会への正式参加を享受することができるようになります。

R.I.会長ロイス・アビー氏は、世界の六つのロータリー地域から各1名のローターアクターと、3人のロータリアンから成るR.I.特別委員会を設置しました。3年に1度開かれる規定審議会が、1992年の初めに開催されますが、その後この委員会がR.I.ローターアクト常任委員会になることが期待されています。

この国際的な委員会は、R.I.と協力して、年次ロータリー国際大会に先立って開かれる会期1日のフォーラムを企画する予定です。



R.I.日本支局だより



ロータリー適用相場変更のお知らせ

国際ロータリー中央事務局より本年2月1日から総ての振込に対する適用相場所謂ロータリーレートを1ドル128円（現行122円）に変更する旨来電（2月3日付）がありましたので連絡申し上げます。

“文庫通信”ご案内(第6回)

今回、過去半年間に登録された資料の中から下記の10点をご紹介します。

- 「新会員のために先づこれだけは知っておこう」
和歌山R.C. 1983年 85頁 [文庫]
- 「ロータリーこれでよいのか」
堀場雅夫 1983年 30頁 [堀R.C. 0722-38-3250]

「合理化時代と職業奉仕」

西村祥三 1983年 28頁 [堺R.C. 0722-38-3250]

「職業奉仕の勉強(上・下/続第三号)」

小田一昭 1984年 521頁・517頁/1988年 525頁

[熊本南R.C. 096-354-4533]

「続ロータリーの心を尋ねて」

大村北R.C. 1986年 290頁 [09575-3-4222]

「新会員のために」

高岡R.C. 1987年 121頁 [0766-21-4250]

「ロータリーの窓」

東京世田谷南R.C. 1988年 30頁 [03-409-6086]

「ロータリー教則本」

沼部治夫 1988年 81頁 [小山東R.C. 0285-22-4101]

「友愛と奉仕 ロータリアンの条件」

松永祥甫 1988年 59頁 [山口R.C. 0839-22-5677]

注. [] = 注文先

R.I.及びR.I.日本支局の視聴覚プログラム(第3回)

(スライド・セット, ビデオテープ, 映画)

449-JA

ロータリーの紹介

(INTRODUCTION TO ROTARY)

奉仕の四大部門それぞれを取り上げた4部構成のビデオ。ロータリー情報プログラムとして、また新会員に会員資格、ロータリー奉仕を説明するのに最適。

下記テープが入手可能：

PAL BETA II、スタンダード(449A-JA)

NTSC BETA II (449B-JA)

NTSC VHS (449C-JA)

PAL VHS (449D-JA)

1揃い \$ 45.00

(スライド60枚、英語のカセット録音テープ付

き：台本はEN、FR、JA、PO、SPの多国語版)

一揃い \$ 23.00

453-MU

会員の増強：クラブが取り組むべき課題

(MEMBERSHIP GROWTH: A CHALLENGE FOR OUR CLUB)

クラブの質の向上と会員数増加をもたらす基盤となる会員増強のプログラム。

(スライド53枚、カセットはない、台本はEN、FR、JA、PO、SPの多国語版)

一揃い \$ 28.00

451-MU

広報：活動しているロータリーのイメージ

(PUBLIC RELATIONS : IMAGE AT WORK)

健全な広報を通じて、地元の人々と個々のロータリアンおよびクラブとのあいだに好ましい関係を築くうえに効果的。

454-MU

ロータリーにおける効果的な指導力

(EFFECTIVE LEADERSHIP IN ROTARY)

ロータリー・クラブの管理における指導力の効果を解説。地区レベルもしくはクラブ新役員研修用として最適。一揃い \$ 25.00

地 区 だ よ り

1988—1989年度 三河第1分区I.G.F.報告

分区代理 岩瀬正雄(蒲郡R.C.)

ホストクラブ会長 権田紀夫(新城R.C.)

実行委員長 高田敦孟(新城R.C.)

1.日 時：平成元年1月29日(日)

午前9時50分～午後3時30分

2.場 所：新城地域文化広場

3.会場：新城ロータリークラブ

4.特別出席者

高沢 隆(ガバナー)

リーダー 岩瀬正雄(分区代理)

アドバイザー 森 泰樹(パスト・ガバナー)

〃 田中 徹(パスト・ガバナー)

〃 山内 疊(地区クラブ奉仕副委員長)

〃 内柴 義郎(地区会員増強委員)



熱心な討論が進むI.G.F.会場

本年度当地区では最後であり、かつ平成元年最初のI.G.F.としての三河第1分区I.G.F.は、高沢ガバナー、森・田中両パスト・ガバナーをお迎えし、11クラブから会員405名が参加して地元新城市ご自慢の新城地域文化広場において開催されました。早朝かなりの冷え込みがありましたが、快晴の天候に恵まれ参加者の出足は好調で、主会場の小ホールは開会前から満席に近い状態となりました。

定刻、まず大行天皇に黙祷を捧げ(林早陽子さんのピアノによりショパンの葬送行進曲を演奏)、岩瀬分区代理による点鐘で開幕、権田会

長は歓迎の挨拶として、昔から“山湊馬浪”と呼ばれ物資・文化の中継地として栄えた新城においてI.G.F.が開催されることの意義を強調し、高沢ガバナーからは“アラモの砦”的サン・アントニオR.C.と長篠城跡の新城R.C.との国際交流の動きなどを紹介されたうえ、本年5月にソウルで開催されるR.I.国際大会への積極参加を呼びかけられました。

続いてパネルディスカッションに入り、クラブ奉仕部門「会員増強」(豊川宝飯R.C.山口善徳会員)、職業奉仕部門「職業奉仕における新方針」(田原R.C.柴田敏幸会員)、社会奉仕部門「30周年を記念して(インターフェクトクラブの現状と将来展望に関する問題)」(豊川R.C.竹内邦宏会員)、国際奉仕部門「ボランティア・発展途上国の医療事情(スライドを併用)」(豊橋R.C.高沢昭典会員)の4つのテーマで発表と意見交換が行われました。

本年度のI.G.F.の最大の特色は、当地区として初めての試みである「新会員研修会」でありました。会場内大会議室において各クラブの新会員(参加登録者125名)が集まり、講師の森・田中両パスト・ガバナーからそれぞれ豊富な御経験に基づいたプラクティカルな御助言をいただき、参加者一同がロータリアンとしての自覚を一層高めることができました。森パスト・ガバナーは「ロータリーの歴史とロータリーの心」という題で話され、堅苦しく考えないでロータリーをエンジョイしてほしいと結ばされました。田中パスト・ガバナーからはR.I.の組織機構・地区等について明快な御説明をいただきました。次いで高沢ガバナーの司会で7人の新入会員がそれぞれロータリーに対する印象や当面する悩みを語り、高沢ガバナーからその都度御助言をいただきました。ガバナーからは、いわゆる転勤族の会員にとってロータリーに加入していることによりそれなりの収穫が得られているかど

うかに関心を持っているという趣旨の御発言がありました。

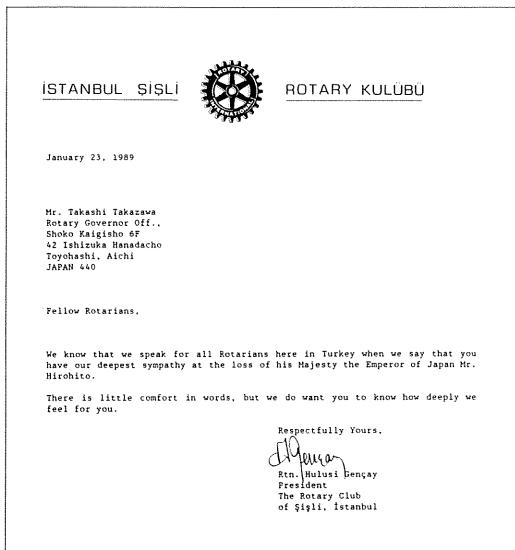
研修会には約1時間が充てられ、その間他の会員は大ホールで行われたアトラクションの長篠陣太鼓と狂言「棒しばり」を鑑賞しました。

新会員研修会終了後再び小ホールに全員集合し、R.I.制作中のビデオ「ロータリーネットワーク」による研修、ガバナー、パスト・ガバナーの講評を受け、次期分区代理（豊橋南・柴田茂会員）並びに次期I.G.F.ホストクラブ（豊橋南R.C.）の紹介と挨拶の後、昨年10月に発足し、本年3月19日に認証状伝達式の運びとなった豊橋ゴルデンR.C.の大野元三会長の挨拶があり、午後3時30分閉会の点鐘によって、充実した全日程を終了しました。

イスタンブール・シスリR.C.会長より 昭和天皇崩御に対する悔み文が着きました

トルコ共和国のイスタンブール・シスリR.C.会長より、高沢ガバナー宛に次のような手紙が届きました。

「日本の裕仁天皇陛下の崩御を悼み、トルコの全ロータリアンより謹んでお悔み申し上げます。」



1990~'91年度 国際ロータリー第276地区 ロータリー財團奨学生募集要綱

種類	大学院課程、大学課程、職業研修、障害者教師、シャーナリズム
募集人員	各種あわせて正候補者13名、および補欠候補者3名
奨学金支給期間	1ヶ年（1990年9月～1991年6月）
奨学金内容	往復航空料金、授業料、書籍と学用品費、下宿料および食費
申請方法	応募者は、その居住地あるいは在学または勤務先にあるロータリークラブに申し出て、その指導を受け、パンフレットと申請書類を入手し、ロータリークラブを通じて地区ガバナーに申請する。
応募条件	①留学希望が英語圏ではTOEFL、その他外国语圏では留学先の言葉の語学力査定をベルリッツ・スクールで受け、その成績書を申請書とともに、締切日5月15日までに提出すること。 問合先 • TOEFLについて 名古屋市中区栄 丸善ビル内 ISA TEL 052-261-2891 • ベルリッツ・スクール (The Berlitz Schools of Languages) 本部ロータリー係…東京都港区赤坂 1-11-41 第一興和ビル内 TEL 03-584-3603 名古屋栄校…………TEL 052-962-3681 ②1年以上の留学経験者は除く。 ③他地区との併願は認めない。 ④当地区（愛知県）出身者、または在住、在学（勤務）する者とする。 ⑤クラブ推薦者は2名を限度とする。
申請期日	ロータリークラブ受付締切 1989年5月15日 クラブより地区ガバナーへの申請締切 1989年6月1日
選考	当地区において1989年6月下旬（予定）
選考発表	ロータリー財団より1989年12月頃
資格	ポスターまたはパンフレット参照
留学希望校	申請者は、事前調査により出来るだけ希望校の内情を把握し、3か国以上の留学希望校5校をあらかじめ選定しておく必要があります。（同一国内は2校まで）
* * *	
問合せおよびロータリークラブより地区への書類送付先	
国際ロータリー第276地区 ガバナー／ミニー事務所 所在地：名古屋市中区錦1-19-30 名古屋観光ホテル527号室 TEL：052-221-1877	
※上記事務所では、申請者より直接の申請受付は致しませんのでご注意下さい。	

地区大会、選挙管理委員会委員が委嘱されました 大会決議委員会委員

去る1月12日(火)開催されました第4回地区諮問委員会において、地区大会の選挙管理委員会委員と大会決議委員会委員の決定承認され、下記の通り委嘱されました。

選挙管理委員長 福田パストガバナー

〃 委員 大隈パストガバナー

〃〃 川瀬パストガバナー

大会決議委員長 田中直前ガバナー

〃 委員 加藤パストガバナー

〃〃 奥谷パストガバナー

国際ロータリー第276地区 第4回地区諮問委員会が開催されました

日 時：1989年1月12日(土)11:30～14:00

場 所：名鉄グランドホテル12階“蘭の間”

出席者：安野P.G.、近藤P.G.、佐藤P.G.、森P.G.、

川瀬P.G.、加藤P.G.、奥谷P.G.、福田P.G.、
田中直前G.、高沢G.、盛田G.N.

(オブザーバー 石川地区幹事、
内山地区監事、
水野次期地区幹事)

欠席者：鈴谷P.G.、大隈P.G.

本年度、第4回目の地区諮問委員会が開催され、下記事項が審議されました。

〈協議事項〉

- (1)地区大会準備状況の件
- (2)地区大会選挙管理委員会並びに大会決議委員会委員委嘱の件
- (3)アルメニア地震支援金支払の件
- (4)フィリピン台風被害に対する援助金の件
- (5)地区拡大・会員増強委員会開催の件
- (6)地区会計中間決算承認の件
- (7)ロータリー財団奨学生募集と今後の取扱いの件
- (8)フィリピンR.I.D.381地区大会参加の件
- (9)1989年規定審議会の審議に付される決議案の要旨の件

〈報告事項〉

- (1)年度後半(1月～6月)の日程の件
- (2)ロータリーアジア親善会議開催の件
- (3)第2四半期自己評価報告書の件
- (4)ガバナー・ノミニー事務所開設の件
- (5)1989～'90年度分区代理委員長会議・会長エレクトセミナー開催の件
- (6)1989～'90年度委員長決定の件

公式訪問 だより

昭和63年10月28日創立した新クラブです。



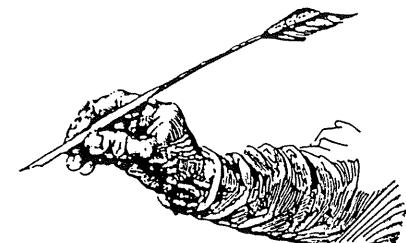
豊橋ゴールデンR.C.

1989年1月27日(金)

会員数 45名

会長 大野 元三

幹事 梅村 東



昨年10月28日創立、11月17日にR.I.加盟認証された、本年度第1号の新クラブである。ゴールデンの名称は、本年のR.I.会長テーマの「ロータリーに活力を—あなたに活力を」にちなんで、黄金のように輝かしく、活力にみちた仲間の集いと云うことで名付けられた由。平均年令45才、黄金の様に輝く未来を期待致します。

地区委員会報告

クラブ奉仕委員長会議報告

地区クラブ奉仕委員会

委員長 中村繁男
(岡崎南R.C.)

1.日 時：1989年2月5日(日)

午後2:00～4:00

2.場 所：名鉄岡崎ホテル

3.特別出席者：

アドバイザー

ガバナー 高沢 隆(豊橋)

パスト・ガバナー 加藤直一郎(岡崎南)

リーダー

地区クラブ奉仕委員長 中村 繁男(岡崎南)

地区ロータリーの友委員長 高橋 義雄(一宮)

AST.リーダー

地区クラブ奉仕副委員長 山内 疊(豊橋北)

同 委員 加藤 政良(瀬戸)

同 委員 中村 嘉孝(名古屋)

地区ロータリーの友委員 箕浦 弘美(稲次)

地区副幹事 森 澄(豊橋)

同 川部 庭資(豊橋)

参加135名。早川岡崎南R.C.会長の歓迎のことばについて、リーダーから高沢G.、加藤P.G.外の特別出席者を紹介、高沢G.の挨拶をもって会議がはじまりました。シンガポールの規定審議会において、「(1)婦人の入会が認められる。(2)人頭分担金の増額(米貨29ドル)。(3)クラブ例会の休日を年2回増やす」等が可決され、今後のクラブ運営に影響がある旨、ガバナーから情報の提供がありました。

先ずクラブ奉仕。友愛コーナーを例会に設置(岡崎南)、夫人同伴例会、夫人のつどい(知多、瀬戸、名古屋北)、早朝例会午前6時30分より(名古屋大須)等々の報告。瀬戸クラブから「情報委」のメンバーをパスト会長に限る慣習につき質問あり、高沢G.から「必ずしも会長経験者の必要はない。豊橋クラブでは幹事経験者も委員になっている。要するに最もR.情報にくわしい会員をあてるのが望ましい」との御指導ありました。

ついで「雑誌」について。

高橋リーダーから「ロータリーの友」をめぐる諸問題について解説あり。特に「たて書き・横書き」の由来、どちらかというと、縦書頁の方が読まれている率が高いとの報告がありました。

討論では各クラブとも、余り読まれていない実情がのべられ、雑誌週間にあたって関連する卓話を行うことによって会員へのP.R.をはかる。

(名古屋南)、高校へ寄贈(豊川宝飯)、「友」はロータリーの感覚文化の表現(西尾)等活発な意見の交換が行われました。

最後に高沢G.の講評。ことにD.276の出席率がこここの所引き続いて日本一であることが報告され、万場拍手のうちに閉会しました。



地区青少年奉仕、インターラクト、ローターアクト 合同委員会が開催されました

地区青少年奉仕委員会 委員長 福山巧 (名古屋南R.C.)

地区インターラクト委員会 委員長 岡田一秀 (岡崎南R.C.)

地区ローターアクト委員会 委員長 中根比呂志 (岡崎R.C.)

第276地区青少年奉仕、インターラクトローターアクト合同委員長会議が1月25日(木)12時より15時まで、名鉄グランドホテルにおいて高沢ガバナーご出席のもと、福山巧地区青少年奉仕委員長をリーダーとして開催されました。

青少年奉仕は高沢ガバナーの最大のテーマの一つであり、21世紀の次代を担う青少年の育成に絶大な情熱を注がれています。

会議は事前に行われた第276地区内各クラブの青少年奉仕活動、インターラクト、ローターアクトについてのアンケート調査の結果に基づい



クラブ青少年奉仕委員長会議

てインターラクトクラブ、ローターアクトクラブの拡大および会員の増強、その他の青少年奉仕活動について、熱心な討議が行われ、インターラクトクラブについて東海R.C.において設立の機運があり、ローターアクトクラブについては8クラブにおいて検討中であることが報告されました。

なお、アンケート調査にみる地区内のクラブのインターラクト、ローターアクト以外の青少年奉仕活動の主なものとして次のものが挙げられます。

1. ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団の支援
2. 青少年健全育成のための支援
3. 養護学校、福祉施設等への支援
4. 少年スポーツ、運動会への支援
5. 子供大会等への支援
6. 書道展、美術展、音楽会等への支援
7. 青少年図書の寄贈
8. ロータリー少年キャンプの実施 (名古屋)

青少年交換学生交歓オリエンテーション

地区青少年交換委員会

委員長 木本精之助
(名古屋R.C.)

旧260地区時代よりの成果を引き継いで、今回も276地区・260地区合同のかたちで、長野西ロータリークラブのホストにより、長野市飯綱高原で開催されました。276地区からの参加者は、受入交換学生10名、派遣予定学生13名、帰国学生3名、関係ロータリアン2名、父兄1名、総勢30名が、長野駅頭で260地区関係者に温く迎えられ、飯綱高原ホテルアルカディアに向いました。



歓談しているメンバー

た。

オリエンテーションの内容は、来日中の受入学生にとっては、日本滞在中の経験と情報を分

ち合うことに意味があり、特に1月来日直後のオーストラリヤ学生にとっては、既に5ヶ月滞在中のアメリカ、カナダ学生よりのアドヴァイスや意見交換はまことに貴重なものとなりました。又派遣予定学生には、旅行の諸準備や留学生活への期待や不安について、帰国学生の生の体験談は、得がたい参考になりました。

計画された全体会や、分科会でのプログラム内容はもちろんのこと、むしろ食事のテーブルでの話題や、ロビーでの歓談の間に、種々の情

報が交換され、親しい語らいは、夜の更けるまで続けられました。

翌1月29日(日)は前夜の雪も晴れ上り、飯綱高原はこの冬最高のスキーワークとなり、午前中は長野西クラブ会員によるスキー指導を受け、引き続き午後も全員が白銀のゲレンデでスキーを楽しむことが出来ました。

ホストされた長野西R.C.の会長以下一丸となつた、熱意溢れる準備と指導により、成功裡に交歓・研修の実をあげることが出来ました。

ローターアクト海外研修旅行報告

地区ローターアクト委員会

委員 丹 羽 三千夫
(小牧R.C.)

1988~89年度の地区ローターアクト委員会の活動の一環として実施されましたローターアクト海外研修旅行は、2月9日から13日迄の5日間、シンガポールへ行きました。

久しぶりにロータリアンも同行しての研修旅行で、260地区のローターアクト委員会の小島委員(諏訪R.C.)と当地区からは、小生が同行しました。

出発が搭乗機のエンジントラブルから2日遅れ、2月13日のロータリアンとの交歓会が都合つかず取り止めとなつた外は到着から帰国までシンガポールのアクター達が本当に心のこもった応接をしてくれた事、彼等の善意と友情に敬意を表さずにはいられませんでした。

シンガポールにはアクトクラブが10クラブあり15名~20名の会員で構成されているとの事で、12日は5クラブから会長・幹事等で10名余13日の夜は先方の招待で、お茶のパーティーを催され、そのほとんどのクラブから参加約40名余のアクト達が参加しての大歓迎会となりました。我々のアクト達も昼間の観光スケジュールの疲れも忘れて、双方が全く片言の会話に身振り手振りを交え笑顔で、然も真剣に対している姿は本当にユーモラスで笑えましい光景でした。

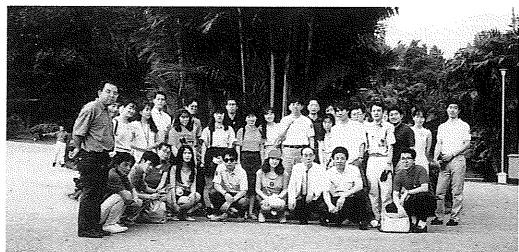
マレー人で兵役中のアクト(18才~20才迄で2年)日本企業に勤務3ヶ月横浜へ研修に行っ

て来たばかりの中国系のエリート、西南R.A.C.会長をしているインド系の歯切れのよい女性等小生と話しをした人達も帰国時、空港まで見送ってくれ、又会いましょうと握手をしに来てくれた事、小生も又何日かと感激しました。

シンガポールへの年4回位、日本各地から訪問して居り、中には大阪方面の某地区と毎年交歓を重ね、新年度の前後にはシンガポールの新会長、幹事を日本へ招待している地区もあると聞き、これも一つの海外研修の一つの方法だと感じました。

都市国家的性格を持ったシンガポールは高層が並び立ち250万の人口を擁し乍ら、緑多く本当に美しい街でした。中国系76%、印度・マレーシア系各10%余の比率乍ら、よく人も融和している様子が12月正月祭り最後の各人種別の行列もそれぞれ違った行列乍ら、少しも不調和でなかった事でも感じられました。

いづれにしても強行軍。昼の観光、夜の交歓会(アクト達は勤務がある為)短期間ではありましたが、総勢30名のロータリー、ローターアクトの会員の仲間意識のもと楽しい有意義な研修旅行であったと信じています。



260・276地区からの参加者

クラブだより

創立30周年記念式典を終えて

豊川ロータリークラブ
会長 中尾 敬三

2月9日豊川閣に於て豊川ロータリークラブ創立30周年記念式典を挙行致しました。当日は第276地区高沢ガバナーを始め、豊川市長並に宝飯郡4町長及近隣クラブの会長幹事、更に当クラブの姉妹締結をしている台湾岡山ロータリークラブ林峻輝会長以下9名、及韓国大邱達西ロータリークラブ金熙錫会長以下11名の来場を得まして合計215名の参加のもとに行いました。

記念式典の目的とするところは、30年前にこの立派なロータリークラブを創立し、今日に伝えて頂いたチャーターメンバーに感謝を申し上げる式典であることと、次に新らしい時代に対処出来る豊かで強いロータリークラブに変身する為の決意を新にする式典であります。

記念事業としては予算約1,000万円をもって次のことを行いました。

- (1)ロータリー財団へ特別寄付
- (2)米山記念奨学会へ特別寄付
- (3)台湾岡山ロータリークラブへ世界社会奉仕基金の贈呈
- (4)韓国大邱達西ロータリークラブへ世界社会奉仕基金の贈呈
- (5)豊川市体育館へ青銅製青年の像の寄贈
- (6)宝飯郡4町へ社会福祉金の寄贈
- (7)豊川高校インターラクトクラブへ海外派遣費の寄贈



式典会場：豊川閣妙厳寺(豊川稻荷)

創立15周年記念式典を開催

名古屋空港ロータリークラブ
会長 小出 幸郎

春日井R.C.をスポンサークラブとして創立した当クラブの創立15周年記念式典を、1989年2月5日午後6時より、名古屋ホテル・オークラにおいて開催。式典に先づつ第705回の例会は、昭和天皇の崩御を悼み君が代演奏による黙祷を捧げたあと、プログラムを進行。続いて厳粛裡に挙行しました。来賓として高沢 隆ガバナー・加藤 守東尾張分区代理・林 啓春日井R.C.会長・長江 博豊山一城北R.C.会長・安藤銀次豊山町長及び、姉妹提携クラブ、香港九龍西R.C.ハドソンC.リー会長・ご夫人等15名。比国マカティ西R.C.カルメリノP.アルベンディア会長・ご夫人12名のご出席を賜り会員、家族を加えての出席者数は147名。

パストガバナー福田浩三実行委員長より15年を懐古して、“奉仕活動の意義”更に永遠に発展を続けるであろう……ロータリーの会員として、一層活力をこめて奉仕活動に精励する旨のあいさつ。小出幸郎会長の「友情を深め結束強固に飛躍拡大を誓う」あいさつのあと、記念事業として豊山町を通し福祉施設へ50万円を贈呈。高沢ガバナーへ米山奨学会、ロータリー財団への寄付金贈呈及びクラブ功労者表彰を行いました。来賓祝辞では、高沢ガバナーより当クラブの業績への讃辞を頂戴し、また姉妹クラブ両会長からも友情溢れるスピーチを頂きましたが、国際通訳を入れたことで言葉の交流もスムーズではなくやかに——和やかなムードで姉妹クラブへの記念品贈呈なども、おこないました。

このあと、加藤分区代理の発声で高らかに乾杯。一流エンタッティナーによるショウを楽しみながら親睦交流を深める会食。9時30分、宴たけなわのうち、“手に手つないで”と林春日井R.C.会長による万歳三唱で記念すべき催しにビ

リオドを打ちました。

15年を一つの節目として、R.I.会長の“ロータリーに活力を—あなたの活力を”のテーマのもと、心を合せて地域社会への奉仕・国際奉仕を推進し、ロータリーの発展につくしたいと、意を新たにいたしました。（幹事代行・谷口昌隆記）



福田浩三(バストガバナー)実行委員長の挨拶

韓国より中高生を迎えて

新城ロータリークラブ
会長 権 田 紀 夫

新城R.C.が韓国大邱嶺南R.C.と姉妹提携を結んだのは1985年であります。その翌年から当地域の中学生の韓国への海外研修旅行が教育委員会主催で行われるようになり、当クラブの紹介で大邱市の学校訪問、又R.C.会員宅へのホームステイなどの行事が組み込まれ、その成果を挙げてまいりました。たまたま昨年姉妹締結更新の打合せに出掛けた際、是非日本へも学生を派遣して下さいとお願いしましたところ、前向きの御返事を頂き、今回実現の運びとなりました。

来訪されたのは会員、夫人5名、高校生10名、中学生7名の総勢22名で、2泊3日新城に滞在されました。学校訪問は新城東高校と新城中学校にお願いし、両校とも全校あげての歓迎ぶりで、韓国の学生達も大変感動した様子でした。又工場見学を軽飛行機を制作している地元のエーアールブイと大邱にも工場のあるオーエスジーの両社にお願いをし訪問させて頂きました。その他市長訪問、歓迎パーティ、ホームステイ等々、盛り沢山の行事が行われました。

3日間、彼らと接触して感じたことは、まず今回の旅行に対して両親への感謝の言葉が全員

から出たことです。今の日本の若者にはあまりないことです。次に市長訪問で、民主主義、教育政策、日の丸の意義等、大変高度な質問が相次ぎました。中高生の質問とは思えず、市長さんもたじたじでした。最後にホームステイでの英語の語学力の高さです。日本の子供達は完敗です。まだまだ色々ありますが紙面の都合上省略させて頂きます。

韓国の学生達は感想の中でこう言いました。「日本という国は道路を始め環境整備が非常に進んでおり、又人々も秩序正しく親切であった。私達が今まで国で考えていたのとは大変な違いです。帰ったら早速この事を学校や家で皆に話したい。純粋な子供達が純粋に受けとめてくれたことをありのままに伝えてくれる。最高の国際理解であり、国際親善であると思います。近くで遠い国といわれた韓国が、近くで近い国になるのはそう遠い先ではないでしょう。」



民族衣裳を着て会場へ向う韓国学生達
市図書館に“ロータリーの友”を寄贈

安城ロータリークラブ
会長 稲垣 和秀

安城ロータリークラブでは、創立以来30年間に渡り、安城市中央図書館に“ロータリーの友”を寄贈し続けていますが、去る1月20日、安城市の教育長・中央図書館長をお招きして“ロータリーの友”7冊を寄贈致しました。



稲垣会長より、岡田図書館長へ贈呈



新ポールハリス・フェロー

1月分

(1月末現在、ガバナー事務所判明分)

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
谷 衛 (岡 崎)		蛇原重成 (小 牧)	
服部英二郎 (犬 山)		鷺野武平 (犬 山)	
木納隆義 (犬 山)		日比野良太郎 (犬 山)	
宮岡史郎 (犬 山)		蜷川 幸 (半 田)	
鈴木千里 (半 田)		杉浦常一 (半 田)	
土平詔一 (半 田)		百浦隆吉 (半 田)	
山田 達 (半 田)		植田正昭 (半 田)	
成田嘉則 (豊 橋)		杉浦義尚 (高 浜)	
堀井 武 (小 牧)		山田政二 (小 牧)	
松永 亮 (名古屋北)		万木啓義 (名古屋港)	
佐野一二 (瀬 戸)		鶴飼捷雄 (田 原)	
大場真昭 (田 原)		金田秀夫 (田 原)	
鈴木 登 (田 原)		松井 昭 (田 原)	
河辺勝巳 (田 原)		長谷川 誠 (名古屋名北)	
酒井俊一 (小 牧)		伊藤久臣 (奥三河)	
後藤佳男 (奥三河)		松井章悟 (豊 橋)	

名古屋郷土玩具

名古屋土人形

名古屋張り子

豊橋R.C.会員

成田 嘉則

(成田記念病院理事長)

土人形には“ふるさと”的血がよっている。江戸時代に入って世情が安定してくると城下町を中心に土人形つくりが盛んになった。

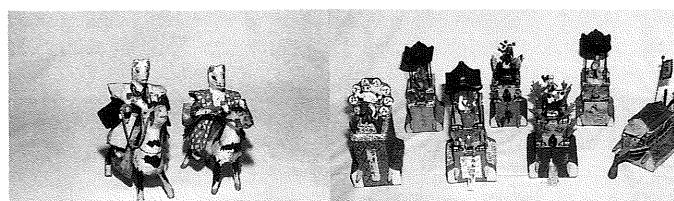
名古屋は戦前郷土玩具の宝庫といわれ、全国に有名であった。名古屋土人形は慶応の末期から明治の初期から作られたと云われている。

創始者は伊藤友松、次いで立松金七が始め明治末期には最盛期を迎える。山田こう・はづ姉妹、加藤鶴松、成瀬富次郎等、多数の作者が技を競いあつたが現在は千種区松竹町の野田末吉さんが唯一の名古屋土人形の作者である。種類は歌舞伎物土人形や東照宮山車、鳴笛、土鈴など多彩で二百種余り。

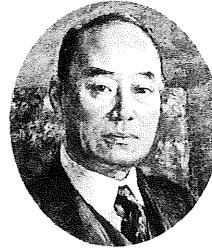
なかでも名古屋東照宮の祭礼に各町が競って曳き出した山車を模した玩具がすばらしい。狸々酒呑む、鶴は岸り、雷ごろごろ、二福神、お湯取り笛吹く、唐子は太鼓打つ、三條小鍛冶の狐面、獅子に牡丹に橋弁慶の9輪でそれぞれの山車の特徴をとらえた秀玩である。

●名古屋張り子・馬乗り狐

二月初めの午の日に行う稻荷祭を初午といい。全国のお稲荷さまの祭礼でござわう。きつねはお稲様のお使いといわれ、大衆となじみ深く、ことわざにも『きつねを馬に乗せる』とあり、馬乗り狐は芯に針金で骨組みし紙ねんどうに肉付けして胡粉彩色したもので名古屋の張り子作者伊藤治継、和夫(共に故人)の昭和初期の製作で革毛の馬にはかま絆で刀を手挟んだ殿御姿の牡狐がまたがりおとぎ話の主人公気取りでほほえましい。今はなき名古屋の名玩のひとつである。



氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
林 一郎 (豊 橋)		長谷川雅機 (名古屋守山)	
井ノ上国雄 (名古屋守山)		永谷昭樹 (瀬 戸)	
松原耕平 (瀬 戸)		鈴木良信 (瀬 戸)	
岡田多喜男 (瀬 戸)			



新米山功労者

1月分

(1月末現在、ガバナー事務所判明分)

氏名	所属R.C.	氏名	所属R.C.
森 美智大 (稻 沢)		松永文雄 (江 南)	
古川雅敏 (名古屋東)		佐伯恭二 (尾 張旭)	
水野高平 (瀬 戸)		和佐田高望 (瀬 戸 北)	
小島正也 (東 海)			

新マルティブル・フェロー

岡戸伍式 (半 田)

森 美智大 (稻 沢)

水野勝之 (名古屋北)

渡辺佳成 (田 原)

内柴義郎 (田 原)

新ベネファクター

第276地区 出席報告 1989年2月分

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数			分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				63年 7月1日	当月	増減					63年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	知多	100.00	4	34	37	+3	西尾張分区	あま	100.00	4	87	88	+1
	半田	98.10	4	70	71	+1		尾西	94.00	4	57	56	-1
	半田南	99.51	4	52	53	+1		一宮	97.83	3	95	100	+5
	東知多	96.29	3	48	49	+1		一宮北	99.21	3	87	89	+2
	常滑	97.66	3	59	60	+1		稻沢	100.00	4	58	59	+1
	東海	95.99	4	57	56	-1		西春日井	97.60	4	61	65	+4
	計	97.93		320	326	+6		尾張中央	99.40	4	44	42	-2
名古屋第一分区	名古屋	95.35	4	221	238	+17	三河第一分区	津島	100.00	3	88	87	-1
	名古屋南	100.00	4	125	129	+4		計	98.51		577	586	+9
	名古屋港	100.00	3	111	119	+8		渥美	94.84	4	61	63	+2
	名古屋瑞穂	100.00	4	79	79	0		蒲郡	98.08	3	79	79	0
	名古屋中	99.07	4	131	135	+4		奥三河	88.20	3	50	50	0
	名古屋西	97.41	4	153	160	+7		新城	91.97	3	52	54	+2
	名古屋大須	99.14	4	79	86	+7		田原	98.67	3	82	79	-3
	名古屋東南	100.00	4	86	90	+4		豊橋	100.00	4	126	118	-8
	計	98.87		985	1,036	+51		豊橋北	99.30	4	117	116	-1
名古屋第二分区	名古屋千種	98.67	4	54	60	+6	三河第二分区	豊橋南	97.66	4	80	81	+1
	名古屋東	99.77	4	110	113	+3		豊川	94.01	4	80	84	+4
	名古屋北	100.00	3	100	102	+2		豊川宝飯	90.74	4	50	53	+3
	名古屋名北	98.79	4	59	63	+4		豊橋ゴールデン	100.00	3	—	52	+52
	名古屋名東	100.00	4	71	73	+2		計	95.77		777	829	+52
	名古屋守山	99.21	3	89	87	-2		安城	99.45	3	79	80	+1
	名古屋和合	100.00	4	98	103	+5		碧南	99.00	4	77	78	+1
	計	99.49		581	601	+20		一色	100.00	4	54	50	-4
東尾張分区	犬山	100.00	4	79	84	+5	三河第二分区	刈谷	100.00	4	89	101	+12
	岩倉	98.69	4	38	40	+2		西尾	98.48	4	84	85	+1
	春日井	100.00	3	86	88	+2		岡崎	100.00	4	95	103	+8
	小牧	100.00	4	71	71	0		岡崎東	98.91	4	73	75	+2
	江南	99.28	4	72	74	+2		岡崎南	100.00	3	85	89	+4
	名古屋空港	100.00	4	63	71	+8		高浜	100.00	4	48	50	+2
	尾張旭	100.00	3	53	56	+3		豊田	100.00	4	93	95	+2
	瀬戸	99.38	4	78	80	+2		豊田東	98.65	4	73	75	+2
	瀬戸北	99.13	4	58	57	-1		豊田西	98.18	4	100	98	-2
	豊山城北	99.65	4	74	73	-1		計	99.39		950	979	+29
	計	99.61		672	694	+22							
地区内クラブ数 62 R.C.				'88.7.1会員数 4,862名			増加会員数 216名						
				当月末会員数 5,051名			減少会員数 27名						
				当月平均出席率 98.47%			差引純増会員数 189名						

訂正: №9(1月号)の数値を訂正します。 名古屋空港クラブ 会員数 72名→71名 地区会員数(1月末) 5,050名→5,049名

4月の地区及び地区内の主な行事予定

- 4月8日(土) 碧南R.C.30周年
4月9日(日) 岩倉R.C.10周年
4月8日(土)~9日(日)
D.276,D.260合同ローターアクト年次大会(諏訪)
4月16日(日) 渥美R.C.20周年
4月22日(土) 第5回地区諮問委員会
4月22日(土)~24日(月) 地区大会
4月28日(金) 春日井R.C.20周年

4月12日(木)~20日(木)
国際協議会(米国アリゾナ州フェニックス)

計報

- 謹んでご冥福をお祈り申し上げます
2月18日 青井計佳君(尾張中央R.C.)
3月8日 山田廉平君(西尾R.C.)
3月17日 寺沢健治君(刈谷R.C.)

4月のガバナー公式訪問日程

11日(火) 岡崎城南

(本年度の新設クラブとして、公式訪問が行われます。)

健 康 に 一 言

ベルツに帰れ!!

豊川の東海カントリークラブ11番のロングホールのティーグラウンドの右手前方にこんもりとした林がある。ここは梅林で有名な西明寺の境内になっていて、ここにドイツ人医師ベルツ博士とその妻はな夫婦の墓がある。

この11番のティーショットの前にベルツ博士の墓へ向ってお辞儀を忘れるときもボールは吸い寄せられるようにO Bラインを越えてしまうような気がして、丁寧なお辞儀をするように心がけている。

今年はこのベルツ博士の没後75年目に当るので、ベルツ博士のことを少しく書いてみることにした。

ベルツ博士はビーティヒハイムに生れ、チュービンゲン大学で医学を学び、その後とくにウンデロリヒ博士に師事して研鑽を重ね、ライプチヒ大学の講師になった上で、日本政府の招きに応じて、明治9年(1876)に来日した。そして明治38年(1905)までの29年間日本に滞在し、東京大学の前身である東京医学校で教鞭をとり多くの優れた日本人医学者を育て、公衆衛生方面では日本の防疫事業の基礎を築く努力をした。博士は又寄生虫学、温泉医学などにも熱心に取り組み、気候医学にまで研究を進め、その結果として結核療養所が海岸に作られたり、皇室の御用邸が葉山を選ばれた際の建言をしている。

博士は医学を教えるのに単に教科書だけで

なく、ベッドサイドチーチングと云う現在でも行なわれている教え方を取り入れ、患者からちかに学ぶと云うやり方で生徒を指導した。

博士のエピソードとしては、ある時箱根の旅館に泊ったとき、そこの女中さんのひび割れのひどさに驚いてベルツ水の処方をしてあげたとのことです。このベルツ水は今でも使われています。身近かなちょっとしたことにも医師としてのアイディアを出して治療してあげようとする親切心を現在の医師達は学ぶべきではないだろうか。この意味で“ベルツに帰れ”と云いたい。ベルツ博士の名前を冠したベルツ賞が出来て25年になるが、日本の医学に貢献した人に毎年与えられている。

博士は豊川の荒井花子さんと結婚し1男1女をもうけたが、明治38年家族を残してドイツに帰国し、子供もドイツに渡ってしまい、妻の花子さんは豊川で淋しくなった様である。2人の死後、豊川の西明寺にお墓が作られたのである。

日本とドイツと離ればなれで死を迎えた花子夫人の淋しさは想像するに余りあるが、この花子夫人の淋しさがゴルフボールをO Bラインを越して引きよせるのではないだろうか。

森 澄地区副幹事
(森外科院長)